



① 熱心に聴講する参加者

### 青壮協「エネルギー勉強会」



## 上関原子力と

# 推進活動の歴史に学ぶ

3月27日、上関町青壮年連絡協議会(以下「青壮協」)主催の勉強会が開催され、役員・会員など10名が参加しました。当日は、守友誠副会長による福島第一原子力発電所の視察報告の後、中国電力上関原子力発電所準備事務所の笹木副所長から上関原子力と推進活動の歴史、交付金を活用した町づくりの実績などについて説明を受けました。

その後の意見交換では、推進活動に対する思いや、原子力に対する否定的な意見があった際の返答に苦慮した体験談をもとに活発な意見交換が行われ、参加者からは「諸先輩方の原子力誘致による町づくりへの思いを再認識できた」、「定期的に勉強会を開催し、今後の活動に活かしたい」といった声も聞かれ、大変有意義な勉強会となりました。

(要旨：文責編集部)

# 上関未来通信

豊かな町を原電とともに

上関町まちづくり連絡協議会 ● 会報

No.43

通算357号

発行 令和5年5月31日

### 【中国電力説明】

#### ● 上関原子力と推進活動の歴史

① 計画浮上から電源開発基本計画組み入れ「1982年(S57)〜2001年(H13)」

1982年(S57)、加納新町長が町議会で「町民の合意があれば誘致してもよい」と表明されたことをきっかけに上関原子力発電所の建設計画は動き始めました。当社は1984年(S59)に原子力発電所の立地可能性調査に着手し、翌1985年(S60)に上関町長島西端が原子力発電所の適地であるとの調査結果を上関町に報告。これを受け、上関町は1988年(S63)、当社に対し原子力発電所誘致の申し入れをされました。そして、当社は1996年(H8)、山口県、上関町、関係権利者に対し原子力発電所建設の申し入れをしました。その後、環境影響調査書の説明会や第1次公開ヒアリングなどが行われ、2001年(H13)には、上関原子力が国の電源開発基本計画に組み入れられるという大きな節目を迎えるとともに、同年8月には、環境アセスメント手続きが終了しました。

#### ◆ 推進団体が発足し

##### 活動をスタート

加納新町長の誘致表明に併行し、1982年(S57)には推進団体『上関町の発展を考える会(田中正巳会長)』が設立され、企業誘致の推進による産業振興など、豊かで住みよい町づくりに向けた取り組みをスタートさせました。1988年(S63)には、町内の青壮年会(室津、上関、四代)が集まり『上関町青壮年連絡協議会』が発足。町内の青壮年の連携を強化することなどが話し合われました。そして1989年(H1)、青壮協による『第1回町づくり青年の集い』を開催。当時の声明文には「我々青壮年は『上関町の町づくり』



① 1991年(H3)当時の青壮協会員

を真剣に考え、その実現に向けて立ち上げるため、ここに結集した」とあり、『町づくり青年の集い』を開催して清掃

活動を行うなど、青壮協としての具体的な活動をスタートさせました。

1991年(H3)には町民が、原子力発電所誘致を契機とした町づくりを進めようとの合意のもと、『上関町の発展を考える会』と『町民のための町長をつくる会(1986年(S61)発足)』が一体となり、『上関町まちづくり連絡協議会』を発足されました。

また、当社から上関町への建設申し入れをした1996年(H8)、上関漁協前と中央公民館(いずれも当時)で『歓迎大集会』を開催。



① 上関町まちづくり連絡協議会発足大会

1997年(H9)には町づくりを考えていく一環として、青壮協が上関町の立体模型を制作されました。

② 電源開発基本計画組み入れから準備工事一時中断「2005年(H17)〜2011年(H23)」

2005年(H17)から2009年(H21)までの間、当社は原子炉設置許可申請に必要なデータ等を得るための詳細調査を実施。また、準備工事のための主要な許認可手続きとして、2008年(H20)10月に公有水面埋立

免許を、そして同年12月には林地開発許可をそれぞれ山口県から受領し、本格的な準備工事に向かいました。当社は2009年(H21)4月に、準備工事のうち陸域工事に着手。同年10月には海域工事に着手しました。その後同年12月には、経済産業省に原子炉設置許可申請書を提出したことで、国の安全審査を受ける新たな段階を迎えました。

海域工事に対しては妨害行為があり、なかなか進捗しない状況が続いた中、2011年(H23)3月11日、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故が発生。これを受け、同日15日、当社は福島県の事故について地元住民の皆さまへの説明を最優先に取り組みむこととし、準備工事の一時中断を決定しました。

#### ◆ 推進団体による

##### 推進総決起大会

妨害行為により当社による準備工事が進捗しない状況の中、2010年(H22)には、町連協をはじめ、町内の推進6団体が主催した『上関原子力発電所推進総決起大会』が開催され、会場には約1500人の有志が集まりました。

## 上関原子力発電所推進総決起大会



裏面に続く

● 上関原子力と推進活動の歴史

こうした活動のほか、今もなお町内の推進団体は上関町への原子力発電所誘致を契機とした町づくりを実現したいとの思いや、原子力の必要性を町内外の方に訴え続けるなど、理解活動を継続されています。



- 地域の皆さまからご理解をいただくための取り組み(広報誌「かけはし」の町内全戸配付や各種イベントの開催など)
  - 建設予定地の維持管理や環境監視調査の継続
  - 安全、安心な発電所作りのための取り組み
  - 埋立免許をはじめとする必要な許可の維持更新 など
- 当社としては、上関原子力発電所建設計画の浮上から40年以上が経過しており、推進団体の皆さまをはじめとする多くの町民の皆さまより、一貫して

当社事業にご理解を賜るとともに、当社と一体となった活動に取り組んでいただいたにもかかわらず、今現在、発電所建設が実現できておらず、原子力発電所立地を契機とした町づくりの実現という皆さまのご期待にお応えできていないことを大変心苦しく思っています。

2023年(R5)2月に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」には、原子力を活用していく方向性は示されましたが、新増設は明記されておらず、誠に申し訳ありませんが、現時点で上関原子力発電所の着工や運転時期を具体的にお示しすることはできません。

しかし、上関原子力発電所が2050年カーボンニュートラル実現に向けて必ず必要となる重要な電源であることに変わりはなく、今後もできることからしつかり取り組む考えであり、まずは埋立工事に先立って実施が必要な海上ボーリング調査が安全に作業できる状況となるよう、また町づくりの実現という皆さまのご期待にお応えできるよう、鋭意取り組んでまいります。

④ 交付金を活用した町づくり

これまで上関町に交付された上関原子力に関わる交付金により、上関町総



合文化センター、上関海峡温泉鳩子の湯、道の駅上関海峡をはじめ、福祉・集会施設、教育施設、医療施設など、町内の各種施設が整備されました。また、町営バス運行事業、健康支援事業、イベント事業、へき地診療所維持運営事業などのソフト面にも活用されており、上関町における町づくりや生活支援の一助を担っています。



【主な質疑、意見】  
● 原子力について常に勉強し、町内外の方に原子力の安全性や必要性などを広めることが自分たちの役割だと思っている。

● 上関町内では原子力の必要性を理解してもらえませんが、町外からは「原子力ではなく、太陽光や風力などの再生可能エネルギーだけで賄えばいいのでは」、「安全に暮らせるのか」といった意見を言われ、対応に苦慮することがある。どんな電源にもメリット・デメリットがあり、様々な電源を組み合わせることが必要ということも広めたい。

● 上関原子力の推進活動の原点は、企業誘致による人口増加や経済効果であり、我々の親世代もそれを期待して取り組んできたと思う。これからもこの町で生活していきたいと思うので、上関原子力

計画が進むよう理解活動に積極的に取り組みたい。  
● 人口減少は町の財政にも影響する。原子力は人口減少を食い止める起爆剤であり、町づくりのための財源確保策として、原子力を進めていかなければならない。

閉会あいさつ



上関町 青年連絡協議会 副会長 柏田 真一

今回、上関原子力発電所の建設計画の歴史を振り返り、一致団結して理解活動に取り組んでいきたいとの気持ちを新たにしました。今後も仲間を増やして推進の輪を広げるとともに、他の推進団体とも連携して一層活動を活性化させ、上関町にとって良い方向に進むよう共に歩んでいきたいと思います。

町連協のホームページをリニューアルしました

このたび、上関町まちづくり連絡協議会のホームページ「上関みらい通信」のリニューアルを行いました。我々の活動や原子力関連情報、また、皆さまに親しんでいただけるよう、町内に関する情報も充実させます。皆さまもぜひご覧ください。



「上関みらい通信」  
<https://kaminoseki.jp/>

● 今年2月、経済産業省を訪問した西町長に対し、西村経済産業相から「国の重要電源開発地点に指定された上関地点の位置づけは変わらない」との発言がありました。これは我々にとっても心強く感じたところです。  
● また、この度の勉強会で、参加者からの意見を聞いて「上関原子力発電所建設を起爆剤とした町づくりをしたい」という変わらぬ思いを感じました。今夏は久々に水軍まつりも開催されるそうです。上関町が魅力ある町になるよう、これからも、力を合わせて盛り上げていきたいと思えます。(K)

後記